

地域発 元気づくり支援金 R2実施事業検証一覧表

事業番号	事業名	団体名	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
1	障がいがある人もない人も地域でつながるコミュニティカフェと作業所の創設	特定非営利活動法人ラブリーズ(飯田市)	・泰阜村に子どもや障がい者と地域住民が交流できるコミュニティスペースを創設 ・子ども食堂を9月～3月の間に計8回開催し、延べ134人が参加 ・カフェは1日1～30人程度の来客があり、また、月1回のプログラミング教室(延べ31人参加)やエイサー・三味線教室(延べ39人参加)等の習い事教室を開催した。 ・障がい者が描いたアートを展示するアートフェスを開催(211人来場) ①イベント宣伝チラシ代、イベント材料費(鹿革)、オープンレンジ・冷蔵庫・内装(カーテン・マット)購入費 ②エアコン設置、給排水設備(簡易キッチン・洗面台)整備	1,475	1,112	年代や障がいの有無に関係なく誰もが足を運びやすいコミュニティカフェの開設に取り組んだ。今後も多くの方に利用され、地域住民の交流の場として機能することを期待する。
2	丹保の歴史と民俗を次世代へ伝承事業	丹保の今昔を語る会(飯田市)	・地区住民による地域誌を発行。図書館・学校等の関係機関へ配布 ・冊子を活用した小中高生への学習会、地区住民向けの勉強会を開催 ①冊子製本、郵送料	1,865	1,384	地域の歴史を伝える冊子を作成し、学習会等を通じて地区住民に周知した。作成した冊子を有効活用した歴史の伝承の取組に期待する。
3	南信州の人形劇・獅子舞・サブカルチャーの複合芸能文化「南信州天昇オロチ」による南信州地域の文化振興	南信州複合芸能文化の会(阿智村)	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、イベントや教育施設での巡回公演が中止となってしまったが、その分ガイドブック制作を充実させ、飯田下伊那地域に広く配布することができた。また、コロナ禍ではあったが、購入した楽器で稽古を続けており、次年度も令和4年度実施予定のお練り祭りに向けて稽古を行っている。 ①ガイドブックの制作・配本(1,000冊) ②稽古の継続(令和2年度に10回程実施)	1,826	1,443	コロナでイベントは中止となったが、イラストや写真を用いて分かりやすく作成したガイドブックを管内各学校等へ配布し、南信州天昇オロチを広く周知した。今後も活動を継続していただき、お練り祭り等で活躍されることを期待する。
4	米川古道の魅力再発見プロジェクト	千代米川区(飯田市)	・米川古道遊歩道の整備・安全対策を行うほか、休憩小屋改修を実施 ・米川古道遊歩道マップの制作 ①マップ制作 ②遊歩道整備	2,516	1,676	地域の環境を活かした魅力アップに取り組んだ。ウォーキングイベントはコロナで中止となったが、作成したマップを有効に活用いただき、来訪者が増加することを期待する。
5	天龍峡花の郷おもてなしプロジェクト	下村地区活性化委員会(飯田市)	・多目的イベントスペース設置 ・下村広場からの景観整備のため支障木除去及び花壇の設置 ・年数回開催が予定されているイベントとの連携 ①チラシ代、のぼり ②花壇造成、多目的スペース設置、除伐工事	4,260	3,204	観光客の増加を目的として、広場へのイベントスペース設置等の環境整備に取り組んだ。今後も地区住民が一体となって地域を盛り上げることを期待する。
6	野池親水公園整備事業	野池区(飯田市)	・第3公園の進入路の舗装及び簡易小屋の設置、公園内の案内看板及び公園への道案内看板の設置、住民による公園内の車道判別のための砂利敷き及び区画整備を行った。 ②看板製作、簡易小屋設置、公園整備	4,081	2,720	昨年に引き続き、野池親水公園の整備を実施した。コロナで今年度の利用者は地元住民が中心だったが、利用者が増加し、整備の効果が伺える。今後の自立運営に向け、地区外からも多くの人が訪れるような施設となることを期待する。
7	地域で進める竹林整備及び竹の利活用推進事業	喬木村	・木材破砕機を整備し、地域の団体へ貸し出した。また、地域住民を対象に木材破砕機操作講習会、竹林整備講習会を実施した。 ・破砕した竹チップを観光用タケノコ狩り園場整備や、低農薬による農作物の栽培などに活用した。 ①講習会の講師謝礼 ②破砕機、替刃の購入	3,184	2,124	地域の課題である竹の整備及び利活用推進を目的とした事業を実施した。今回整備した木材破砕機を活用した環境保全や竹チップの有効活用の取組に期待する。
8	竹林撃退で地域活性化プロジェクト	豊丘村	・地域資源の循環による観光誘客のため、伐採した竹を燃料とした足湯を道の駅に設置した。 ・パウダー破砕機を整備し、伐採した竹を竹パウダー状に加工し、竹パウダーによる土壌改良の研究を行った。 ①破砕機用ヘルメット代 ②破砕機、竹ボイラ、足湯水槽代	4,861	1,929	竹の有効活用による地域活性化を目的とした事業を実施した。今回整備した機器等を有効に活用した竹林整備や竹の利活用推進の取組に期待する。
9	万古渓谷沢歩きルート整備事業	千代地区まちづくり委員会(飯田市)	・沢歩きの案内標識及び案内看板を設置 ・地元住民による保全活動PRの看板及び協力金募金箱の設置 ①看板等デザイン、チラシ代 ②案内看板・標識設置	1,165	893	昨年に引き続き、万古渓谷の沢歩きルート整備に取り組んだ。豪雨でツアーは中止となったが、今回設置した看板やルート整備により魅力が向上し、観光客の増加につながることを期待する。
10	令和新時代を拓く東山道×7summitプロジェクト	阿智村	・7summitの高峰である網掛山に登る登山客に向け、登山ルートを明確化するための看板を設置(入口、遺跡碑横、中腹、山頂付近)した。 ・旧東山道の一部で、網掛山の登山道入り口にも当たる矢平川入口付近と殿島に橋を設置。また、旧東山道の急傾斜面に迂回路、鎖の設置を行った。 ・7summitのうち、恵那山、富士見台高原、南沢山が国定公園に指定されたことに伴い、国定公園の看板を設置した。 ・富士見台高原の山頂付近の山小屋である萬岳荘に、中央アルプス国定公園のイメージパネルを設置。 ②看板設置、橋設置	1,126	751	昨年に引き続き、登山ルートの環境整備に取り組んだ。コロナの影響で観光客は大きく減少したものの、アウトドアアクティビティへの関心が高まっているため、引き続き山岳観光振興の取組に期待する。
11	健康な食が健康な体を育む。～環境保全型農業の推進～	松川町	・野菜作りの魅力を伝える講演会を2回開催し、計132名が参加 ・ケーブルテレビで野菜作り番組を放送(11回/年)するとともに、遊休農地を活用した有機栽培圃場で研修を行い、町民の農業への関心を高める活動を行った。 ・有機栽培圃場で栽培した食材を町内小中学校へ提供した。 ①後援会経費(講師謝礼・宿泊費・旅費、チラシ代)、野菜作り番組経費(講師謝礼、耕運費、草刈り機・資材購入費)、有機栽培実証経費(講師謝礼・旅費、有機栽培マニュアル製作費)	1,376	1,079	昨年に引き続き、農業へ関心を持ってもらうための事業を実施した。地域住民の農業への関心が高まり、遊休農地の解消や新規就農者の増加につながることを期待する。

事業番号	事業名	団体名	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
12	南信州蝶紋養殖・振興プロジェクト	豊丘村	・南信州蝶紋の養殖と振興を図るため、蝶紋移動型養魚施設の整備と、観賞用の水槽を整備した。 ②水槽購入代	1,597	771	昨年に引き続き、南信州の新たな特産品として蝶紋の養殖、振興に取り組んだ。PRイベントはコロナで中止となったが、今後も研究を進めていただき、南信州名物として蝶紋が浸透することを期待する。
13	市田柿の皮や熟柿を食材にしたSDGsを取り入れたメニュー・特産品開発事業	高森町商工会（高森町）	・市田柿の皮や熟柿を食材として活用するメニュー・特産品開発を目的に、委員会を組織し、開発に向けたアイデア出しと、試作品開発を行い、試験的に事業所で販売を行った。 ①専門家への商品開発謝金、試作品開発に関する業務委託	396	297	市田柿を作る過程で廃棄されてしまう皮を活用したメニュー開発に取り組んだ。SDGsの視点を取り入れた農商観の一体の取組であり、今回開発した商品が普及することを期待する。
14	インターンシップアシスト事業	回帰促進協議会（飯田市）	・インターンシップ導入企業に対し、学生にとって魅力的なプログラムとなるよう見直しを支援 ・学生・企業間の継続的な関係構築としてオンラインインターンシップを実施 ・インターンシップ受け入れ企業の情報交換会の実施 ・南信州出身者が多い大学・短大等への広報活動、事業協力の依頼 ①インターンシップ支援委託料、チラシ代、広告費	3,230	2,577	地元企業と就職を希望する学生の継続的な関係構築の支援に取り組んだ。引き続き事業を実施していただき、より一層の効果が上がることを期待する。
15	高校生と地元企業とをつなぐ事業	飯田市	Uターン就職促進のため、高校生と企業の交流事業に取り組んだ。 ・高校生に対し、企業のフリースペース提供、オンライン企業紹介等を実施 ・企業8社が高校のキャリア教育の授業を支援 ・企業情報交換会、勉強会を実施 ①謝礼、ポスター・チラシ等作成	2,159	1,687	昨年に引き続き、地元企業と高校生の繋がりがづくりに取り組んだ。支援金による支援は終了となるが、引き続き地元就職の促進への取組に期待する。
16	阿島傘リバイバル計画	喬木村	・阿島傘の後継者育成や原材料供給体制整備による再興を目的とした事業を実施した。 ・後継者育成のための講座や研修を実施し、阿島傘製作のすべての工程を村内で実施できる体制作りを行った。 ①講座道具・材料費、講座講師謝礼、竹林整備道具・材料費、イベント費	863	690	昨年に引き続き、阿島傘の振興を目的とした事業を実施した。地域を代表する伝統工芸として、引き続き技術の継承やPRへの取組に期待する。
17	未来へのまちづくりとエシカル	一般社団法人 South Heart（飯田市）	・地域内のエシカル消費に取り組んでいる場所や商店のマップを制作 ・エシカルへの関心を高めてもらうための専用フリーペーパーを制作 ・「エシカルマルシェ」「SDGsを語ろう会」を開催 ①マップ制作、フリーペーパー制作	1,250	937	昨年に引き続き、エシカル消費の普及啓発に取り組んだ。引き続き行政等と連携した様々な取組により、エシカルの理念が広がることを期待する。
18	飯田線で行く伊那谷の旅	JR飯田線活性化期成同盟会（飯田市）	中止	0	0	—
19	伴野区の歴史の継承を目的とした伴野区誌の編纂と学習事業	伴野区地縁団体（豊丘村）	・豊丘村伴野区の地域の歴史や成り立ちを共有し、地域の愛着を醸成させるため区誌を作成した。また、昨年度作成したDVDの鑑賞や区誌の内容を抜粋した資料を用いて学習会を開催し、伴野区施設に貸出用に区誌を設置した。 ①印刷代、編纂費用	2,100	1,575	昨年に引き続き、郷土愛の醸成を目的とした事業を実施した。作成した区誌を有効に活用した郷土愛を養う取組の継続に期待する。
20	360°体感！高森の魅力「VR」発信事業	高森町	・高森町の観光関係者、地域住民との連携を図りながら、VR技術を活用した疑似体験できる観光PR用コンテンツを作成した。 ①VR動画の作成委託、研修会講師謝礼	1,975	1,481	大学生が中心となり、VR技術を用いたPR動画の制作に取り組んだ。新たなPRツールとして、今後の活用の広がりに期待する。
21	南アルプス みんなでつくる安全登山	大鹿村	・登山者や山小屋、行政等の登山に係る方々と協力し安全な登山を作り上げ、広域山岳観光を推進していくため、鳥倉登山口へ登山情報施設を新設した。 ②登山情報施設の整備、登山者カード記入台及び提出ポストの設置、施設壁面に掲示板（ホワイトボード）を設置	2,420	1,613	関係機関と連携し、安全に登山ができる環境づくりに取り組んだ。コロナ禍で事業効果の検証はできなかったが、今後、整備した施設が有効に活用されることを期待する。
22	保育に関わる人のための安全対策講座	飯田女子短期大学（飯田市）	・保育時の危険予知回避の方法や安全管理マニュアル作成についての「危険予知編」と、心肺蘇生、ケガ手当、アレルギー発作対応などの実地訓練の「応急手当編」の2種類の講座を開催 ・園長、主任など組織管理者を対象とした「組織マネージメント編」を開催 ①チラシ、テキスト代、訓練用AED、訓練用消耗品等	648	463	昨年に引き続き、保育士等向けの安全対策講座を開催した。多くの方が知識を習得できるよう、引き続き講座が開催されることを期待する。
23	天龍ネットワークin関東事業	天龍村	・天龍村への移住定住を促進するため、村の魅力や特産品をPRするオンラインイベントを3回開催した。 ①会場使用料、広告料	484	387	昨年に引き続き、都市部との交流事業を実施した。コロナで実際に現地を訪れてもらうことはできなかったが、本事業を通じてできた都市部住民とのつながりが今後も活かされることを期待する。
24	運動選手に食の大切さを伝える事業	飯田女子短期大学（飯田市）	・高校の運動部やジュニアスポーツ選手、保護者、指導者等を対象とした食育調理実習と出前講座を実施し、スポーツ食育による若い世代の食生活の改善に取り組んだ。 ①チラシ代、レシピ印刷、ポータブル身長測定器 ②骨密度計測器	1,185	899	昨年に引き続き、成長期のスポーツ選手等を対象にした食育事業に取り組んだ。今後も講座が継続され、多くの若い世代へ食の大切さが伝わることを期待する。
25	下條歌舞伎の魅力発信プロジェクト スタート篇	下條村歌舞伎保存会（下條村）	・下條カブキッズ(村内保育園年長児24人)を設立し、下條歌舞伎定期公演(無観客開催)に出演した。 ・道の駅に下條歌舞伎PRスペースを設け、ポスター及びタペストリー、パンフレットを設置して情報発信を行った。 ①園児歌舞伎衣装購入費、園児写真撮影委託費、下條歌舞伎パンフレット・ポスター・タペストリー製作委託費	969	775	下條歌舞伎の魅力発信に取り組んだ。子どもから大人まで、地域内外の多くの人が伝統文化への関わりを深め、理解するきっかけとなった。

事業番号	事業名	団体名	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
26	「トヨオカフルーツール」普及・PR事業	豊丘村	・桃ビールの解禁イベント「豊丘オクトーバーフェスト」を開催した。 ・商品のPR、普及に繋げるため、商品説明パンフレットやお土産箱を作成した。 ・ふるさと納税返礼品とし、地域外へPRした。 ①豊丘オクトーバーフェスト開催費用(イベントチラシ、新聞折込、新型コロナウイルス感染拡大防止策)、商品説明パンフレット作成費用、お土産箱のデザイン費用	495	234	昨年開発した桃ビールの普及・PRに取り組んだ。 桃ビールが地域内外の方に親しまれ、地域の活性化につながることを期待する。
27	南信州民俗芸能継承推進事業	南信州民俗芸能継承推進協議会(飯田市)	南信州地域の資産である伝統芸能を次世代に継承することを目的とした事業を実施した。 ・ウェブサイトの活用による情報発信 ・県立歴史館出張講座の開催 ・民俗芸能カレンダーの制作・配布 ・企業等による協力体制の構築 ①アドバイザー謝礼、講師謝礼、啓発物品制作費、広告掲載費	2,973	536	昨年に引き続き、民俗芸能の継承推進を目的とした事業を実施した。 今後も、当地域の貴重な資産である民俗芸能の保存・継承への取組に期待する。
28	子どものための今すぐはじめる森と木のある暮らし事業	特定非営利活動法人矢作川源流の森ねば(根羽村)	・普段の生活の中に「森や木のある暮らし」が実践できるように、南信州の小中学生を対象に身近に存在する里山を活用して森の中にウッドデッキを設置した。設置の際にはロープワークを行ったり、設置したウッドデッキを使って様々な活動も行った。 ①パンフレット印刷費、作業道具費、材料費	3,107	2,293	地域の里山を活用し、森林環境教育に取り組んだ。 ウッドデッキの製作を通じて多くの子供たちが森林に親しむ機会を提供できた。
29	南信州シードルツーリズム推進事業(第2期)	NPO国際りんご・シードル振興会(飯田市)	シードルを南信州地域のブランドとして育て上げ、持続可能な果樹産業の実現や第2次・第3次産業の活性化、地域経済の発展を目的とした事業を実施した。 ・昨年考案した観光コンテンツやルートを旅行商品化するための研究集会を開催 ・シードルツーリズム推進のためのHP立ち上げ ・パンフレット「ご当地じゃらん 南信州シードル旅」更新 ・海外醸造家との情報交換をオンラインで実施 ①研究集会支援コンサル費、HP制作、会場費、広報費、委託料、パンフレット印刷費	2,651	2,121	昨年に引き続き、シードルをテーマにした観光振興に取り組んだ。 今後も様々な組織と連携したシードルによる地域の盛り上げに期待する。
30	移住人口増加に向けた南信州広域連携事業	南信州広域連合	・南信州地域の人口減少を抑制するため、オンラインで南信州地域の特産品や生活の仕方を伝える移住ツアーやセミナーを開催した。また、移住者の興味を引くような動画を作成し、フェイスブックやYouTube等で発信を行った。 ①謝礼、消耗品費、広告費、委託費、使用料	2,073	1,658	昨年に引き続き、市町村等と連携して移住促進に取り組んだ。 コロナでイベントはすべてオンラインによる実施となったが、内容を工夫してツアーやセミナーを開催し、地域外に南信州をPRできた。
31	特養やまりきの郷のギャラリー開設による地域交流促進事業	社会福祉法人やまりき松寿会(飯田市)	特別養護老人ホームやまりきの郷において、地域ボランティアのイベント会場や高校生の自習室として利用されている地域交流スペースを有効に活用するため、ギャラリーを設置した。 ・地域交流スペースに写真や絵画などを展示するギャラリーを設置 ・地域の写真家等の作品を展示し、入居者や近隣住民が観覧 ①パーティー、広告宣伝費	742	556	地域交流の促進を目的に、老人ホーム内に写真や絵を展示するギャラリーを開設した。 引き続き様々な作品のPRの場及び住民の交流の場としての有効活用を期待する。
32	芝居と歌で語り継ぐ、歌人「金田千鶴」の生きた道	演劇集団「演劇宿」(飯田市)	泰阜村出身の女流歌人金田千鶴をテーマとした事業を実施した。 ・和歌や散文を織り交ぜながら千鶴の生涯をドキュメントタッチに描いた演劇の発表を計画(コロナにより公演は中止) ・金田千鶴ゆかりの地を探訪 ①講師謝礼、会場使用料、コピー代	89	67	郷土愛を育むことを目的に、泰阜村出身の歌人をテーマにした事業を実施した。 計画の中心であった演劇の発表はコロナで中止となってしまったため、今後の活動に期待する。
33	コロナ禍に対応した子供の健全育成の「命の授業」	ジングルライダー(飯田市)	子供の健全育成を目的とし、交通安全、有害鳥獣問題、子供の居場所づくりの要素を組み合わせた「命の授業」を実施した。 ・鹿革の御守り作り教材を教育機関等へ配布 ・交通安全、有害鳥獣(獨協大学生作の紙芝居)、御守り作りの動画を制作 ・ホームページを立ち上げ、情報を発信 ①御守り材料費、ホームページ制作費、動画制作費	1,265	948	昨年に引き続き、交通安全、有害鳥獣問題、子供の居場所づくりを組み合わせた事業を実施した。 今後も地域内外の様々な組織と連携した命の授業の継続に期待する。
34	みんなで知ろう! 取り組もう! 「脱炭素社会」推進事業	飯田脱炭素社会推進協議会(飯田市)	脱炭素社会の実現に向けた取組の推進を目的とした事業を実施した。 ・「2050年いいたゼロカーボンシティ宣言」記者発表や協議会活動においてエコバック配布による普及、啓発を実施 ・気候変動や再生可能エネルギーについて学ぶこどもエコ講座を開催 ①謝礼、エコ講座資材、パネル、ノベルティ	254	190	脱炭素社会の実現に向けて、普及啓発活動を実施した。 先進的な取組を行っているモデルとして、他自治体や団体に波及することを期待する。
35	大杉公園環境整備事業	月瀬公民館(根羽村)	地元住民で大杉公園の環境整備を行うとともに、地元木材を活用したベンチ等を設置し、公園の来訪者へPRした。 ・大杉公園の環境美化作業を住民で実施した。 ・公園内に地元木材を活用したベンチ、サイクルスタンドを設置した。 ①環境整備機器(刈払機等)購入 ②ベンチ、サイクルスタンド設置	752	523	大杉公園の環境整備に地元住民が取り組んだ。 木製ベンチ等の設置により、根羽村の基幹産業である林業のPRができた。
36	九十九谷森林公園の景観整備とくりん草園復活事業	喬木村	豪雨により被害を受けたくりん草園内の土砂を撤去し、住民協働で草取りやアジサイ苗木の植栽作業を行った。 ・くりん草生育地に堆積した土砂を撤去 ・草取りやアジサイ苗木の植栽を実施 ①アジサイ苗木代 ②工事請負費	1,230	861	豪雨で被災したくりん草園の復旧作業を住民協働で実施した。 引き続き地域住民が主体となった公園の維持管理の取組に期待する。
37	三遠南信道の開通を契機に「天竜峡」を竜東地域拠点とする新たな観光資源開拓のための挑戦	龍江地域づくり委員会(飯田市)	天竜峡を中心とした飯田市南部地域の観光資源の開発や周遊観光の振興に取り組んだ。 ・バックラフティング、Eバイク等のアウトドアレジャーの環境整備及び体験会を実施 ・アウトドアレジャーの可能性を探るシンポジウム(兼事業報告会)を開催 ・三遠南信道の開通までの道のりやこれからの地域活性化について報告書を作成 ①体験会開催費(インストラクター費等)、シンポジウム講師謝礼、報告書印刷費 ②バックラフティングコース整備、バックラフト	4,187	3,285	天竜峡を中心とした飯田市南部地域の観光資源の開発や周遊観光の振興に取り組んだ。 引き続きアウトドアレジャーを中心とした地域の盛り上げに期待する。

事業番号	事業名	団体名	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
38	南信州山岳文化振興事業	一般社団法人南信州山岳文化伝統の会(飯田市)	南アルプス最南部の深山幽谷の魅力を活かしたエコツーリズム山岳観光の確立のため、登山環境の整備等を実施した。 ・国道から歩いて入山できるように、旧遠山森林鉄道の軌道を登山道としてリニューアル ・個人テント泊ができるように備品を整備・設置 ・自然観光素材や希少動植物を調査し、資料化 ・県内のガイド組織等を招待し、ファミトリップを実施 ・冒険家である大蔵喜福氏、野口健氏を招いたウェブセミナーを実施 ①登山道整備委託費、テント場整備費(備品購入及び運搬)、自然観光資源調査費、ファミトリップ経費(旅費、ガイドランス費、保険料)、HP作成・ウェブセミナー開催費	2,443	1,954	昨年に引き続き、南アルプス最南部の深山幽谷の魅力を活かしたエコツーリズム山岳観光の振興に取り組んだ。エコ登山の取組が地域内外に広がることを期待する。
39	新・魅力発見『茶臼山パワースポット』の観光PR事業	根羽村観光協会(根羽村)	中止	0	0	—
40	地域ブランド「市田柿」の発信による地域活性化	市田柿活性化推進協議会(飯田市)	市田柿販売100周年にあたり、PR活動及び食育活動を実施し、地域ブランドとしての発信、消費の拡大による地域活性化を図った。 ・100周年記念ポスターを制作し、関係団体施設、直売所等で掲示 ・高速バスの後部に市田柿のラッピングを施し運行 ・市田柿の歴史や栽培加工方法をまとめたストーリーブックを制作 ①ポスター・ブック制作、ラッピングバス掲出料	1,487	1,189	市田柿販売100周年にあたり、地域ブランドとしての発信、消費の拡大による地域活性化に取り組んだ。ストーリーブックを有効活用した様々な世代に向けた市田柿のPRに期待する。
41	農業担い手移住就農促進事業	南信州・担い手就農プロデュース(飯田市)	地域農業の維持、新規就農者の発掘、移住者の増加を促進することを目的とした事業を実施した。 ・地元から新規就農希望者を発掘するための就農相談会を開催 ・南信州の農畜産物や特産品を紹介するパンフレットを作成 ・南信州全体のアピールを強めるため、のぼり旗等のPRグッズを制作 ①パンフレット印刷費、PRグッズ制作費、広告料	926	740	昨年に引き続き、地域農業の維持、新規就農者の発掘、移住促進を目的とした事業を実施した。コロナで都内でのイベントは中止になったものの、管内での相談会の開催や作成したパンフレットの活用による移住・就農の促進に期待する。
42	下條村『親田辛味大根』のブランド力強化事業	特定非営利活動法人元気だ下條(下條村)	・下條村の特産品である「親田辛味大根」について、栽培技術の確立及び生産量を拡大する取組を行った。辛み成分の含有量などを比較するため検査を行い、その検査結果を用いて栽培説明会や村内消費を拡大するキャンペーンを実施した。 ①農業用資材、農具及び試験圃場賃借料、診断・栽培研究委託料、消耗品費、ポスター印刷費、アンケート送料	1,020	772	親田辛味大根のブランド力強化を目的とした事業を実施した。引き続き行政やJA等と連携した生産量の拡大や地域内外へのPRへの取組に期待する。
43	少量多品目を活かした高付加価値飲料開発事業	泰阜村	・高付加価値飲料の開発に当たり、再栓可能なスクリュウキャップが取り付けられる打栓機を導入したことで、商品の利便性が向上した。 ・同時に、風味を損なわない低温殺菌製造、高級感あるパッケージの採用、県知事認定エコファーマー(化学肥料及び化学農薬の使用量低減)の生産りんごであることをPRしたプレミアムリングジュースを発売し、付加価値の向上を図った結果、前年度比233%の増加(生産額)を達成した。 ②打栓機	2,090	1,567	少量多品目で栽培されているリンゴ等の農産物の高付加価値化を目的とした事業を実施した。今回導入した打栓機を有効活用した様々な農産物の販路拡大への取組に期待する。
44	りゅうのまーけっと開催事業	りゅうのまーけっと実行委員会(飯田市)	天竜峡周辺で朝市を中心としたイベントを実施した。 ・地元農家等が朝市で商品を販売 ・陶器や和服リメイク作品の展示販売イベントを実施 ①まーけっと備品、広告費、消耗品	1,149	861	りゅうのまーけっとの開催による天竜峡周辺の地域振興に取り組んだ。コロナで中止や縮小になったイベントもあったが、今後も朝市の継続による地域の盛り上げに期待する。
45	つながり人口創出事業「天龍つなぐカレッジ」	天龍村	・都市部在住で、天龍村民が行う地域活動に関わりを持ちたい方や、移住希望者等に向けた交流事業をオンライン形式で開催。村の暮らし、伝統文化などをテーマに計3回開催した。 ①協力者謝金(企画運営分を含む)、全体企画委託費用	950	760	天龍村と都市部のローカルに興味のある方とのつながりづくりを行い、村の課題や地域について学び、実践的な活動を行う「天龍つなぐカレッジ」を開催した。コロナで現地での活動は実施できなかったが、オンラインによる交流を実施し、新たなつながりができた。
46	下伊那地域の結婚促進・独身女性移住促進事業	愛ねっと北部(豊丘村)	・セミナーを開催するための準備として、独身男性に参加していただき、女性に見せる自分のアピールポイントや紹介したい下伊那地域のデートコースなどを、気持ちのこもった紹介資料を作成するために事前講習会を開催した。 ①事前説明会、新型コロナウイルス感染症対策費	45	36	都市部から田舎暮らしに興味のある独身女性を招き、出会いの機会を増やし、結婚促進につなげる事業を実施する予定であった。コロナで事業内容の主要な部分(都市部でのセミナー)が実施できなかったため、今後の取組に期待する。
47	リニア時代を見据えた、北部5町村で取り組む「住んで楽しい、遊んで楽しい」地域づくり事業	下伊那北部総合事務組合	・リニア開業を見据え、下伊那北部5町村と連携し、農業や観光地、主要道路等の各種資源を盛り込んだ広域地図を作製した。また、地域づくりの機運を高めるため、シンポジウムを開催した。 ①地図作成、シンポジウム開催(講演料、パネラー謝礼)	546	409	リニア開業を見据えた北部地域の地域づくりに取り組んだ。作成した地図やシンポジウムの中で出た意見等が今後の地域づくりに活かされることを期待する。
48	農村記録写真の村・熊谷元一誕生110周年記念事業	阿智村	・阿智村出身の写真家熊谷元一について、地元ならではの学習会を実施した。 第1回 教師としての熊谷元一(24名参加) 第2回 写真家熊谷元一の原点をさぐる(41名参加) 第3回 童画家としての熊谷元一(22名参加) ・学習会での取り組みや熊谷元一が撮影した写真を記録として後世に残し、今後の熊谷元一写真の活用方法を考える基礎資料とする。 ①記録集A4 116ページ フルカラー 200冊	498	368	阿智村出身の農村写真家・熊谷元一の功績を後世に引き継ぐことを目的とした事業を実施した。コロナでシンポジウムは開催できなかったが、学習会や記録報告集の作成を行い、熊谷元一に関する認識を深めることができた。
49	～これからの農業を考える～松川農業みらい塾	松川町	・荒廃農地や農業の担い手不足の解決を目的とし、自立した農業経営者育成のために農業塾の開催、農業経営者同士の横の繋がりを強化しつつ、新規就農者へのサポート環境を整備した。 ①特別講座講師謝礼、シゴト論講師謝礼、キュレーター講師謝礼	1,200	748	昨年に引き続き、農業経営者の育成を目的とした講座を開催した。次年度以降は講座の一部を若手農業者中心の実行委員会が主体となって行う予定であり、事業の発展に期待する。